

# 西防火協力会 だより

第3号

2015.11月1日発行

- ・ 秋季全国火災予防運動
- ・ 西防火協力会総会
- ・ 安全功労者内閣総理大臣表彰
- ・ レクサス東大阪より寄贈
- ・ 救急の目と救急医療週間

- ・ 第32回東大阪市西自衛消防隊連合会
- ・ 東大阪西消防署上小阪出張所の紹介
- ・ 平成27年上半年期消防概況
- ・ 放置高圧ボンベ撲滅への取組み
- ・ 甲種防火管理新規講習のご案内

【発行】  
西防火協力会  
(東大阪市西消防署内)  
TEL 06-6788-7198



## 秋の全国火災予防運動

11月9日(月)～11月15日(日)

＝ 全国統一防火標語 ＝

『 無防備な 心に火災が かくれんぼ 』



# 全国秋の火災予防運動

「無防備な心に火災がかくれんぼ」を平成27年度の全国統一防火標語とし、平成27年11月9日(月)から11月15日(日)までの7日間、秋の火災予防運動が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の普及を図り、火災による死傷者及び財産の損失を防ぐことを目的として、毎年「119番の日」である11月9日から実施されています。

西消防署では、市内の防火対象物の立入検査や保育園、幼稚園等での防火教室、消防訓練等の開催、また高齢者等を中心とする火災による死傷者、被害の軽減に努め、特に不特定多数の人が利用する施設(遊技場、デパート、スーパー等)の防火管理体制の徹底及び放火の撲滅を重点的に運動を展開してまいります。

会員の皆様のご協力より、お願いいたします。

## 重点目標

- 1 住宅防火対策の推進
- 2 放火火災防止対策の推進
- 3 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- 4 多数の者が集合する催しに対する火災予防指導等の徹底

## 事業所では

- 実態に即した消火、通報、避難の訓練等の実施
- 消防用設備等の点検、整備や避難経路となる階段などの維持管理
- 豪雨災害、地震発生に対する対応
- 放火されない環境づくり

以上のようなことから、日頃から対応、周知願います

## 火災予防対策の普及・啓発

- 期間中、巡航広報及び一般広報を実施し、本運動を広く市民の皆様に伝え、事業所、一般家庭における火災予防を呼びかけます。
- 市政だよりによる広報
- 百貨店、スーパーマーケット等の店内放送
- 防火ポスター、懸垂幕による広報
- 消防ヘリコプターによる広報
- 特別立入検査の実施

## 平成27年 安全功労者 内閣総理大臣表彰

7月1日(木)に総理官邸において平成27年安全功労者内閣総理大臣表彰式が行われ、火災予防関係部門で西防火協力会会長米島康夫氏が受賞されました。

昭和56年以来西防火協力会の役員として、現在に至るまで同会の中心的な存在として、地域行事、街頭における広報活動に積極的に取り組むなど、火災予防思想の普及、啓発に長年にわたり率先して努めてこられました。

## 平成27年度 大阪府危険物安全大会

6月12日(金)大阪府森ノ宮KKRホテル大阪で開催された平成27年度大阪府危険物安全大会において、西防火協力会常任理事、日本理化学工業(代 阪口保)様が、優良危険物事業所として(公財)大阪府危険物安全協会より地域安全活動表彰を受賞されました。

## 西防火協力会総会を開催

平成27年度総会が5月19日(火)ベルクラシック大阪で開かれました。西消防署から、川口署長をはじめ幹部の方々のご臨席をいただき、米島会長他役員、会員等総勢43名が出席し開催されました。

平成26年度事業報告、収支決算報告及び監査報告が行われ承認されました。その後平成27年度事業計画案及び予算案について審議された結果それぞれ原案どおり承認・可決されました。

また、役員の変更が行われ、野口副会長が相談役に就任されたことに伴い後任に、西本ガス住設機器(株)西本功氏が副会長に就任されました。

その他役員の皆様は再任ということで承認されました。



## 平成27年度 事業計画

1. 諸会議の開催
  - (1) 役員会・常任理事会… 必要の都度
  - (2) 理事会 …… 随時開催
  - (3) 総会 …… 毎年1回
  - (4) 各部会 …… それぞれ年1回以上
2. 研修・講習会の開催
  - (1) 甲種防火管理者講習会への協力
  - (2) 部会研修会への協力
3. 防火防災普及啓発活動
  - (1) 春季・秋季火災予防運動の推進協力
  - (2) 「救急の日」の推進協力
  - (3) 防火協力会だよりの発行 … 年2回
  - (4) 防災意識の高揚の啓発
4. 表彰事業
  - (1) 優良事業所、優良自衛消防隊、優良防火管理者(事業所)、優良危険物取扱事業所等の表彰
  - (2) 消防活動に協力した市民、事業所等の表彰
5. 助成事業
  - (1) 幼年消防クラブ、女性防火クラブ、消防団等への育成及び助成
6. その他
  - (1) 消防出初式、自衛消防隊操法訓練大会、年末特別警戒等の行事に対する参加及び激励

## レクサス 東大阪より テント寄贈

9月16日(木)レクサス東大阪より西消防署に折りたたみ式テント一式が寄贈されました。今後、寄贈いただきましたテントは西消防署で各種諸行事等に有効に利用させていただきます。



# 救急の日と 救急医療週間

「救急車、必要な時はどんな時？」を主題とし、救急の日(9月9日)と救急医療週間(9月7日～13日)に合わせて東大阪市西消防署は9月7日、近鉄布施駅で消防団員、管内の看護師及び女性防火クラブ員の皆様に協力いただき、救急フェアを開催しました。

救急隊が中心となり、AED(自動体外式除細動器)を使用した心肺蘇生法による応急措置等の救急教室、119番通報訓練や搬送法及び三角巾の実演を行い、応急手当の重要性を呼び掛けました。また、「救急車が必要な時はどんな時？」をテーマに、救急隊が救急現場でどのような活動を実施しているのか理解していただくための寸劇を行い、市民に対し救急業務の紹介と救急車の適正な利用方法

の普及啓発を実施しました。



AEDを↑使用した救急教室

119番通報訓練→

## 第32回 東大阪市西自衛消防隊連合会 消防操法競技大会

9月29日(月)午前9時30分から近畿車輛株式会社グラウンドで東大阪市西自衛消防連合会及び東大阪市西消防署主催の第32回東大阪市西自衛消防隊連合会消防操法競技大会が開催されました。



消防操法

本大会は東大阪西自衛消防隊連合会各事業所の自衛消防隊が消防技術向上と隊員の士気の高揚並びに管内無火災を目指し、消火器操法男子・女子・混成の部(23隊46名)、屋内消火栓操法(9隊27名)、32隊73名が参加し、日ごろの訓練成果を発揮し競技を行いました。各事業所の皆さんは、各競技に熱心に取り組んでおられました。



表彰の様子

### 【第32回大会競技結果】

競技種目	順位	事業所名
消火器操法 男子の部	優勝	学校法人 近畿大学 (A)
	準優勝	学校法人 近畿大学 (B)
	敢闘賞	学校法人 近畿大学 (C)
消火器操法 女子の部	優勝	近畿車輛株式会社
	準優勝	学校法人 近畿大学
	敢闘賞	ハウスあいファクトリー株式会社
消火器操法 混成の部	優勝	近畿車輛株式会社 (部品工場)
	準優勝	学校法人 近畿大学
	敢闘賞	学校法人 近畿大学 (B)
屋内消火栓操法	優勝	近畿車輛株式会社 (A)
	準優勝	学校法人 近畿大学 (A)
	敢闘賞	学校法人 近畿大学 (B)

## 東大阪市西消防署 各署所の紹介

西消防署で最も新しい庁舎である上小阪出張所は、世界初のクロマガロの完全養殖化や受験者数が日本一で話題となった近畿大学の南隣に、前庁舎の老朽化に伴い平成10年12月新築されました。消防車両は、ポンプ車1台が配備され、総勢12名の隊員が3班に分かれ24時間体制で従事しています。

この地域は高層住宅、大型商業施設、大学、工場、倉庫等の多種多様な建物が混在し、あらゆる災害に対応しなければなりません。

我々上小阪出張所職員一同、地域の皆様と連携を密にしなが、安全で安心して暮らせる街づくりを目指して頑張ります。



上小阪出張所前

# 平成27年 上半期消防 概況

## ■火災概要

西消防署管内、平成27年上半年(1月1日～6月30日)の火災件数は37件で、昨年同期に比べ11件増加しています。

火災種別では、建物火災が約84%を占めており、件数も昨年同期に比べ12件増加しています。

出火原因は、放火(疑いを含む)が10件で最も多くなっています。火災による死者は昨年同期まで発生しませんでした。本年は1名発生しています。

なお、この数値は速報値であり、確定値ではありません。

区分	平成27年	平成26年	増・減(△減)	
火災件数	建物火災	31	19	12
	車両火災	3	3	0
	その他火災	3	4	△1
	合計	37	26	11
焼損床面積(m <sup>2</sup> )	164	503	△339	
焼損表面积(m <sup>2</sup> )	87	130	△43	
焼損棟数(棟)	39	25	14	
損害額(千円)	24,412	46,666	△22,254	
り災世帯	31	22	9	
り災人員	59	42	17	
死者数	1	0	1	
負傷者数	4	5	△1	
火災原因 ワースト3	1位	放火(疑い含む)	10件	
	2位	こんろ	4件	
	3位	電気機器	3件	
	3位	電灯電話等の配線	3件	

(平成27年1月1日～6月30日 現在と前年同期)

## ■救急概要

平成27年上半年(1月1日～6月30日)の救急出動件数は、7,126件で、昨年同期と比べ36件増加しています。

事故種別	年別		
	平成27年	平成26年	増・減(△減)
火災	31	32	△1
自然災害	—	—	—
水難	—	1	△1
交通事故	678	716	△38
労働災害	98	91	7
運動競技	28	46	△18
一般負傷	944	906	38
加害	68	71	△3
自損行為	91	79	12
急病	4,718	4,716	2
その他	470	432	38
総出動件数	7,126	7,090	36

(平成27年1月1日～6月30日 現在と前年同期)

# 高圧ガスの放置ボンベ 撲滅への取り組みについて



平成25年2月、本市内の事業所において、消費した高圧ガスボンベにより作業員1人が亡くなるという痛ましい事故が発生しました。この事故は事業所に長期間放置された高圧ガスボンベを、不適切な取り扱いで処分しようとしたために発生しました。

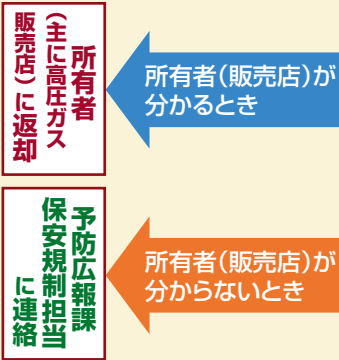
このような事故を防止するため、東大阪市消防局では大阪府下の消防本部(局)及び関係団体と協力して「放置ボンベ撲滅」を指して取り組んでおり、消防法に基づき立入検査の機会を通じて、高圧ボンベを使用している事業所に対して放置ボンベの有無の確認を行っております。

「放置された高圧ガスボンベとは」  
 ・長期間使用されていない高圧ガスボンベ  
 ・空き地等に投棄された高圧ガスボンベ  
 放置された高圧ガスボンベは腐食による破裂等の事故につながり危険です。



【皆さんのご協力をお願いします】  
 放置された高圧ガスボンベはボンベ所有者(主に高圧ガス販売店)に返却してください。所有者がわからないときは、予防広報課保安規制担当へ連絡してください。保安規制担当で所有者の確定又は所有者の所在がわからないときは、関係団体に回収を依頼します。

## 放置された高圧ガスボンベ発見



## 【主な事故事例】

平成26年5月、大阪府内の飲食店で高圧ガスボンベが破裂する事故が発生し、幸い営業時間外に起こった事故だったので、けが人はいませんでした。床が欠け、調理設備が



破損するなどの大きな被害を出しました。この飲食店では、食品酸化防止用に窒素ボンベを購入したのですが、長期間使用せずに放置していたために錆が生じ、その部分が圧力に耐え切れず破裂したと推測されます。

# 甲種防火管理新規講習のご案内

消防法第8条に定める甲種防火管理者の資格を取得するための講習を開催いたします。

## 講習日時

平成28年2月15日(月)

午前10時～午後4時50分

2月16日(火)

午前10時～午後4時40分

(注)講習は、2日間とも受講していただくかないと修了証の交付はできません。

## 講習会場

東大阪市消防局(4階)

防災学習センター多目的ホール

東大阪市稲葉1丁目1番9号

## 申込受付期間

平成28年1月12日(火)～

1月29日(金)

## 申込先・受付時間

東大阪市の各消防署(予防担当)で受講申込みの受付を行います。

◎東消防署 鳥居町3番3号  
 TEL(072) 983-0119

◎中消防署 稲葉1丁目1番9号  
 TEL(072) 966-0119

◎西消防署 御厨栄町3丁目1番41号  
 TEL(06) 6788-0119

受付時間は午前9時から午後5時30分までです。(土曜、日曜、祝日を除く。)

(注)会場の都合により、定員になり次第締め切ります。

受講申込書(各消防署に備えてあります。また、東大阪市消防局のホームページからもダウンロードできます。)に必要事項を記入しお申込みください。

# 新会員の募集

西防火協力会では新会員の募集しております。皆様のお知り合いで加入していただける事業所様がおられましたら、ぜひともご紹介下さいますようお願い致します。

## 連絡先

東大阪市西防火協力会  
 (東大阪市西消防署内)  
 TEL(06) 6788-7198  
 担当 小林

(注)郵送等による申込みの受付は行っておりません。  
 ■受講費用(テキスト代) 4,500円

## 問い合わせ先

### 東大阪市消防局

[ 予防広報課 ]

☎(072) 966-9662

### 東大阪市東消防署

[ 予防担当 ]

☎(072) 983-0119

### 東大阪市中消防署

[ 予防担当 ]

☎(072) 966-0119

### 東大阪市西消防署

[ 予防担当 ]

☎(06) 6788-0119

